

生ける水

発行者 福音教会連合
 日本福音教会連合
 岡山市北区丸の内
 1丁目11番15号
 理事 長 倉賀野 攻
 編 集 太 田 正 信

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

目次

P.1	聖会は招く	倉賀野 攻
P.1	時の声	石井 信一
P.2	イエスの御腕に	石井 順
P.2~3	歌いつつ歩まん	鄭 加
P.3	石井守先生の思い出	石井 篤
P.3~4	愛兄石井守先生の思い出	加藤 田
P.4	思い出の聖会から今日に至る	細川 智
P.4	報告・案内 etc	

聖会は招く

岡山中央キリスト教会
 牧師 倉賀野 攻

「あなたがたは……聖会を召集し……国の民をことごとくあなたがたの神、主の家に集め、主に向って叫べ」
 (ヨエル書一章十四節)

今年も聖会の季節がやってきました。日本福音教会連合の夏季聖会も、大山聖会から通算しますと今年で三十九回目となります。

会場も、現在の岡山県総社市のサンロード吉備路のコンベンションホールになって六回目となります。私、個人的にはここが気に入っています。教会でもありませんし、キリスト教の施設でもありませんが、すでに五回も聖会が行われ、讚美や祈りがささげられていきますので、神様が御臨在下さっていますし、神様の栄光が満ち満ちていて、聖別された場所となっています。

ホールが一番前の座席にすわることを心がけていますがそこで御臨在の主に包まれるような思いになるのは、私だけではないと思います。イスラエルの三代目の王ソロモンは、ダビデ王のなしえ

なかつた神殿建設を実行しました。七年間を費して壮大な神殿が完成しました。その落成式、献堂式に「主の栄光が主の宮に満ちた」(列王紀上八章十一節)とい

うのです。神殿の建物は人間が作ったものですが、そこに神様が御臨在下さいましたので、主の栄光が満ち満ちたのです。

その落成式、献堂式でソロモンは「主よ、しもべの祈りと願いをかえりみて、しもべが、きょうあなたの面前にささげる叫びと祈りをお聞き下さい」(列王紀上八章二十八節)とお祈りしています。

私達の夏季聖会にも、神様が御臨在下さり、夜も昼も日



を開いて、集ってくる者を守り支えて下さるのです。「見よ、イスラエルを守る者は、まどろむこともなく眠

ることもない」(詩篇百二十一章四節)もう一つのソロモンの祈りは「あなたのすみかである天で開き、開いておゆるし下さい」(列王紀上八章三〇節)という祈りでした。

「あなたを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38」

ソロモン王は、民を代表して祈ります。全国的愛兄弟の皆さん、万難を排して御参加下さい。時間と必要が与えられますようお祈りしています。聖会でお会いできますことを楽しみにしつつ……。(聖会委員長)

時の声

市民が刑事裁判の審理に加わる裁判員制度が五月二十一日にスタートした。

何ごとにも賛否両論あるのは当たり前であるが、この制度に反対する人は、「私は人を裁く席にはつきたくない」が率直な心情である事がマスコミで報じられていたがもつともな事である。

人を裁く側に立ちたくない理由は、正確な判断が出来るか、など色々理由があります。例えば、現在のDNA鑑定精度は「四兆七千億人に一人」だそうであるが、初期のDNA鑑定の不正確さは冤罪(足利事件)を起こした事や、すでにその旧鑑定によって死刑判決が出て刑が執行(九二年飯塚市の女児二人が殺された事件)されている事を思うとDNA鑑定の精度の問題だけでなく、人が人を裁く難しさ、裁く資料の信憑性まで問い詰める判断が出せなくなりま

す。司法の世界だけでなく、社会全体に必要な事は「自分のする事に気をつけ、人のためではなく、主のためにする。主には不義がなく、人を偏り見る事なく、まいたいを取る事もない。主を恐れ、真実と真心をもって行う」事です。

「あなたを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38」

イエスの御腕に

熊毛キリスト教会

信徒 石井信一

「イエスの御腕に その御腕に 静かに憩う われは安し」父のまわりに家族が集まり賛美をしました。父は最後の力をふりしほって呼吸をしていました。私は「頑張つてもっと生きていて」と心の中で叫びました。家族に見守られながら、ゆっくりと



夏季聖会ご用の石井守先生

安らかに主の御許へと帰っていききました。その時はすごく悲しい気持ちでしたが、「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます」(マタイの福音書二八章二〇節) 序々に神様への感謝と父への感謝の気持ちへと変わられました。父の人生は本当に主に拠りすがった人生だったと思います。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」(使徒の働き一六章三一節) 父がよく口にしていた御言葉です。この御言葉のように、父は母親に導びかれて教会へ行くよう

苦労も多かったことでしょう。熊毛キリスト教会が建てられた頃、諸教会の青年会の方々がトラクトを配って下さいました。社交的ではなかった父は沢山の方々の祈りと奉仕に支えられて五十年間、牧会を続けることが出来ました。心から感謝を申し上げます。そして神様の御業はすばらしいと思います。

父とのことを思い出すと、私はまだ小さい頃、子犬をもたらって来てくれた事が有りま

した。犬にさわるのが初めてだった姉と私は、椅子の上に登って怖がっていました。しかし今では犬が大好きなのは、その子犬との出会いがあったからでしょうか。



徳山キリスト教会会堂献堂式

に奉仕をする喜びを味わうことが出来ました。その時の父は楽しそうに子供達と賛美をしたり、遊んだりしていました。このキャンプの後に私はイエス様を信じて、父より受洗しました。父は一度、こうと決めたら必ず実行する性格でしたから付いていく母は苦労したことでしょう。教会と保育園の両立は大変な事だったと思いますがそれも神様の御計画の中にあつた事と思わされます。父には幸いなことに尊敬する牧師先生方が沢山おられましたから、各地で開かれていた聖会等でお交わりが嬉しかったようです。有難うございました。私達、家族はもう一度、講壇に立つて説教をしてほしいと望んでいました。五月十日日入院し、肺炎と診断されました。入院してから父は呼吸が苦しうでしたが、もう少し生きようとして頑張ってくれました。入院して六日目の十五日夕方から異変がおこり家族がかけ付けました。父を中心に賛美

出が沢山頭に浮かびます。牧師の家庭に生まれた私は、神様の存在を当たり前のよう

に受け入れていました。父や母が、どんな時にも絶えず祈りながら姉と私とを育ててくれたことを感謝しています。私が中学生の頃、クリスマスチャンの家庭が嫌になった時期がありました。「牧師の息子」と言われることが嫌でした。しかし、そういう時

も変わらず父は祈りの中で私のために祈ってくれたことにより、今でも私が信仰生活を続けて送ることが、出来ていると思います。

父の中心に賛美

休みの日には、初めて買った軽自動車よくドライブに出掛けました。小学生の頃、キヤッチボールやバドミントンの相手をしてくれました。高校生の時、早朝寒げいこに行く為に朝早く車で駅まで送ってくれました。父との思い出が沢山頭に浮かびます。

父には幸いなことに尊敬する牧師先生方が沢山おられましたから、各地で開かれていた聖会等でお交わりが嬉しかったようです。有難うございました。私達、家族はもう一度、講壇に立つて説教をしてほしいと望んでいました。五月十日日入院し、肺炎と診断されました。入院してから父は呼吸が苦しうでしたが、もう少し生きようとして頑張ってくれました。入院して六日目の十五日夕方から異変がおこり家族がかけ付けました。父を中心に賛美

をした祈りたりして父との最後の交わりでした。「ありがとう、ありがとう」「育ててくれてありがとう」と言いながら父に感謝しました。午後十時十九分、静かに主の御許へと。前夜式、告別式は熊毛キリスト教会で行なわれ、きれいな沢山の花で祭壇が飾られ、予想以上の沢山の方々に来て頂きました。諸教会の先生方、教会員の方々、会葬の方々に見送って頂き、有難うございました。父も天国で平安を覚えていることと思います。福音教会連合の先生方、県下の先生方、また教会員の方々、お祈りとお交わりを心より感謝申し上げます。

父の笑顔を思いつつ……。

愛する主をたたえる時
多摩キリスト教会
牧師 鄭 順葉

歌いつつ歩まん

愛する主をたたえる時

多摩キリスト教会

牧師 鄭 順葉

愛する主をたたえる時
み座に進み行き
み座に進み行き
ただ御栄え主に捧げよ。

おしかえし
たえに光るシオンの国へと
たたえ進み行く
輝く主の国。

「韓国讚美歌二四九」

作詞者である「アイザクワツ」は一九〇七年この詩を作詞し「この地上の聖なる喜び」と言う題目で発表しました。

折り返し部分は「ロボットロウリ」が一八六七年にこの詩を作曲する時追加されました。

キリスト者である私たちは悲しむ必要がありません。なぜなら、私たちは万物を支配され、愛を持ってこの世を治められる全能の神様に仕えているからです。

石井守先生の思い出

湘南教会
牧師 加藤 篤子

五月十五日御召天された、守先生を懐かしみつつ少々の年月日の間違いをゆるして頂き先生の若き日、そのご家族の事を書かせて頂きます。



1953年、前列右に石井守師、中央に加藤博重師

その一人が守先生のお母様で、それから長い間教会に任せ、民生委員としても町の為に尽くされました。その様な祈りの中に大切に育てられた兄妹でした。

五月十五日御召天された、守先生を懐かしみつつ少々の年月日の間違いをゆるして頂き先生の若き日、そのご家族の事を書かせて頂きます。先生の母教会、茶屋町復活教会は開拓伝道の始めに二人のクリスチャン助産婦さんが協力されて創立されました。

愛兄石井守先生の思い出

茶屋町復活教会
信徒 岡田 哲夫

苦勞も多かったと思いつながら、今は、最善な所に導びかれたのだと主を崇めています。

して主に仕えておいでになる事を思い救の尊さをほめたたえます。

昭和三十年春、石井守愛兄が日本聖書神学院へ入学されるため上京された時のことが昨日のことのように思い出されます。その時は、年會のために同行し、東京八丁堀の聖都教会で共に話し語り合った日が懐しく忘れられない思い出となっております。

守愛兄は穏やかで柔和な中に芯のある人でしたが、先輩達と議論しながら学べたことは、私の人生で最大の収穫でした。生物学だけでなく、農業や食について、世界の状況も考察しながら議論したことは、農家の長男に生まれ、農業経営だけを考えていた人生から方向転換し、結果農林省に入つて、農政の一部を担当するようになったことを思うと、この生物部での先輩との交流がいかに大きなインパクトであったかを思



後列右端に石井守師、2列目中央に加藤篤子師

教会を購入する時のことです。あらゆる所を見ても適切な場所が見つからなくて苦しんでいた時、今の場所を紹介していただきました。会員の皆さんは、もつと良い場所、もつと大きい場所などの希望が多かったです。私は神様にこの場所のためにお祈りをしました。深いお祈りの中で自分も知らない内に、この賛美を歌っていました。「たえに光るシオンの国へとたたえ進み行く輝く主のくに」

愛兄は献身を示されていたように思います。神学校に入っても、英語の勉強をしたかったら短波放送を聞きたいと云われたので、大急ぎで、短波放送が受信できるラジオを組立ててプレゼントしました。夜イヤホンで聴き乍ら勉強して

いる姿を思い祈ったものです。まだ御活躍されることと思っていました。主が善しとされたのでしょうか召されたことは残念です。御遺族と熊毛キリスト教会の上に限らない主の慰さめと御恵みがありますよう祈っています。

献身に立ち上がりました。気が付くと高知のM兄弟、I兄弟も共に立っていました。山を下りる私達は喜びで満ちていたように思います。年月は流れ、今は夏季聖会となりましたが、愛の覚めた時代といわれる中、世に流されそうになる私を新たにしてくれる場合は、やはり多くの方が祈って備えられた聖会の場です。幼い頃から牧師さんや信者さんから与えられた暖かい愛と神様の臨在を感じる場。今は神様の存在を確信する場となっています。

思い出の聖会から今日に至る

高知福音教会

信徒 細川 智恵

毎朝聖書と共に拝読する旧約一日一章(榎本保朗著)の民数記二七章一二節の中に「聖書には『山』が良く出てくる。アブラハムがイサクを捧げることよって神の現臨にふれたのはモリアの山であり、モーセが十戒を授かったのもシナイ山であった。また主イエスが山上の垂訓をされたのも、ご自身変貌されたのも山の上であった。『聖書では山は神との出合いの場である。』」があります。この「山は神との出合いの場である」は、大山聖会と重なり私の心に残った個所です。

など讚美がなされ、特に若き郷守先生の心の叫びともいえる力強い声を今も覚えています。会場では、今は亡き加藤先生、青木先生など、多くの先生が「智恵ちゃんよきたね。」と声をかけてくださり、伯父(松田牧師)や従姉妹が暖かく迎えてくれました。聖会での説教は、当時の私にはもちろん理解できるものではなかったのですが、足のしびれに耐えながらも座っていられたのは、先生方から発せられる熱い信仰の証につつまれることを心地よく感じていたからだと思います。

「山は神との出合いの場である」を体験するようになったのは、太田先生や青年会の兄弟と共に参加した頃からです。講師の説教に聴き入り、神様の迫りに涙を流しながら

幼き頃、祖母や母に連れられて行った大山聖会は、参加者が一緒のバスで大山に登っていました。バス中では「ただ信ぜよ、ただ信ぜよ、信ずる者は誰も皆救われん」と

ある」を体験するようになったのは、太田先生や青年会の兄弟と共に参加した頃からです。講師の説教に聴き入り、神様の迫りに涙を流しながら

ださった年賀の聖言です。

報告・案内

◆五月十日(日) 正午から市民公園で、多摩キリスト教会(鄭順業師)、聖泉キリスト教会(三浦清重師)、東京多摩キリスト教会(林主栄師) 合同で母の日・野外礼拝が行われました。
◆五月二十五日(月) 関東地区協議会の牧師会が、聖泉キリスト教会で行われました。
◆茶屋町復活キリスト教会(戸叶誠師、久子師)の三輪喜代一兄(享年八六歳)は、五月二六日(火)愛する主のみもとに召されました。ご遺族の皆様の上に主のお慰めをお祈り致します。

編集後記

◆湘南教会(加藤篤子師、加藤信治師、育代師)では、六月六日(土) 教会料理講習会を、七日(日) 特別集会(礼拝と午後講演会)を、インド人で教会料理と自然に成長する教会日本代表のカメイ・ダイタオ先生をお迎えして行われました。
◆倉賀野攻師(岡山中中央基督教会牧師)と太田正信師(岡山勝栄基督教会牧師)は、六月七日(日)から九日(火)まで広島で開催された日本福音連盟第四二回総会・広島大会に出席され、倉賀野師は副議長を、太田師は常務理事としてご用をされました。
*石井守先生のご召天と云う思いも寄らない事が起こりましたので、今号は、夏季聖会案内と石井守先生の追悼号とさせて頂きました。
*前号(二六四号)の「日本福音教会連合 教会巡り⑥」は「⑦」です。お詫びして訂正します。
二六二号の鴻南福音教会の「④」は「⑤」に、二六三号の高知福音教会の「⑤」は「⑥」になります。
*前号二六四号の報告・案内の富士見望キリスト教会の住所、「小暮一四八九一四八」は、「一五八九一四八」です。お詫びして訂正します。

第39回 夏季 聖会

主題 キリストを喜ぶ
聖句 『弟子たち主を見て喜んだ』
ヨハネ20章20節
『主を喜ぶことはあなたがたの力です』
ネヘミヤ8章10節

8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)
受付 13:30	早天祈祷会 6:30 司、三浦 愛師 説、鄭 順業師	早天祈祷会 説、稲田敏朗師
第1聖会(15:00) 司、鶴沼君子師 説、太田正信師	朝食 7:30~ 第3聖会(10:00) 司、加藤信治師 説、小笠原孝師	朝食 第6聖会 司、青木京子師 説、小笠原孝師
夕食 18:00~	昼食 12:00~ 第4聖会(14:00) 司、渡辺 隆師 説、倉賀野攻師 聖歌隊練習	昼食
第2聖会(19:00) 司、阿部俊昭師 説、小笠原孝師	夕食	
	第5聖会(宣教会) 司、戸叶 誠師 説、小笠原孝師	